

会 議 録

会議の名称	令和4年度（2022年度）第1回国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和4年（2022年）11月21日（月）14時00分～15時40分		
開催場所	WEB会議（市役所別館 3階研修室）	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	健康医療部 保険給付課	傍聴者数	2人
公開しなかった理由			
出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者代表：油井広江委員、有ヶ谷一郎委員、田中嘉弘委員、松尾眞一委員 ・保険医又は保険薬剤師代表：芦田康宏委員、飯尾雅彦委員、近藤篤委員、地寄剛史委員 ・公益代表：今井誠委員、角田明義委員、内藤義彦委員、濱節子委員 ・被用者保険等保険者代表：寺嶋隆男委員、山口真寛委員 	
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・健康医療部：松岡部長、小杉理事、勝井保険長兼保険資格課長 寺田参事兼健康政策課長 ・保険給付課：上野課長、岩瀬課長補佐、村山副主幹、渡辺企画係長、宮崎主査、竹口主事、松田 ・保険資格課：太原課長補佐、 ・保険収納課：鈴木課長、吉田課長補佐兼納付推進係長 ・健康政策課：舟橋健康戦略係長 	
	その他		
議題	<ol style="list-style-type: none"> (1) 会長及び会長職務代理者の選出について (2) 国民健康保険事業の概要について (3) 令和3年度（2021年度）国民健康保険事業特別会計決算等について（報告） <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度決算について ・令和3年度評価および令和4年度取組内容について （第2期豊中市国民健康保険 広域化への対応実施計画） 		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

令和4年度（2022年度）第1回 豊中市国民健康保険運営協議会（議事概要）

日時：令和4年（2022年）11月21日（月） 午後2時～

場所：WEB会議（市役所別館 3階 研修室）

●会長及び会長職務代理者の選出について

委員による互選により、会長は内藤委員、職務代理者は角田委員に決定。

●国民健康保険事業の概要について

【資料1に基づき事務局より説明】

【質疑応答】

- 委員 ・豊中市国保の保険料と府内統一保険料について、全国的にどの程度のものなのか。差があれば理由はなにか。
- 事務局 ・保険料率に係る全国的なデータを持ち合わせていない。府内の保険料率について完全統一化をめざしているのは全国でも大阪府が先行している。
- 委員 ・豊中市の保険料は府内統一保険料より低いということだが、令和6年度の統一保険料はまだ確定していないのか。どれくらいになるかの目安はあるのか。
- 事務局 ・現在、激変緩和措置を行いながら、府内統一保険料率に近づけているところである。なお令和6年度の統一保険料については、具体的な数値は未定である。
・豊中市の保険料と府内統一保険料の差について、資料2の4ページのとおり豊中市の一人当たり保険料は約10万円となっており、所得や世帯構成の状況により異なるが、統一保険料率を採用している北摂のある自治体と単純に比較すると1万円程度の差がある。
- 委員 ・豊中市の一人当たりの保険給付費が記載してあるが、府内の状況と比較してどの程度の数値となっているのか。
- 事務局 ・一人当たりの保険給付費の伸びは、府内と比較すると若干低めとなっている。

●令和3年度（2021年度）国民健康保険事業特別会計決算等について（報告）について

【資料2、資料3、資料4に基づき事務局より説明】

【質疑応答】

- 委員 ・ 健診異常値放置者受診勧奨が伸び悩んでいるが、市民の健康づくりに対する意識づけが大事である。府の事業であるアスマイルに対するPRも更に取り組んではどうか。
- 事務局 ・ 広報とよなか以外にも市ホームページやSNSを活用してアスマイルを含めた健康づくりの周知に取り組んでいる。先ほどの意見も参考に今後も取り組んでいきたい。
- 委員 ・ アスマイル専用歩数計について、コンビニ端末を用いての通信方法を店員に聞いても分からないことがあった。コンビニ業者に対する使用方法の周知を徹底して欲しい。
- 事務局 ・ そのような意見があれば、大阪府が委託しているアスマイル事務局に対してその都度要望を上げている。
- 委員 ・ 資料4の1ページ目の市独自の保険料減免の廃止について、令和6年度から全て廃止とあるが、府内全域でも同様なのか。また府全体として法定減免以外の減免制度も必要ではないか。
- 事務局 ・ 府内統一の保険料率に合わせていくことと同様に、減免基準についても統一することになる。市独自の減免はなくなるが、社会情勢の変化に伴い新たな減免が必要な場合は府へ意見をあげていきたい。
- 委員 ・ 保健事業における歯科に関する事業が少ないことが残念である。歯科医師会では歯の健康づくりを通じて健康寿命を延ばす取組みをしているので、保健事業において歯科検診を取り入れてもらいたい。
- 事務局 ・ 高齢者の保健事業と介護予防との一体的な実施の中で歯や口の健康づくり教室を実施しており、コロナ禍で対象人数を絞っていたが、来年度は人数を拡大していきたい。
- 委員 ・ 高齢者だけでなく、現役世代のうちから歯や口の健康づくりに関心を持ってもらえるように事業を拡大して欲しい。
- 委員 ・ 特定健診における内視鏡を用いた胃の検査において麻酔による無痛健診を実施できないのか。
- 事務局 ・ がん検診においては国の指針に基づき行っており、胃内視鏡検診においては鎮静薬を使用しないとなっているため、このような形で実施している。
- 委員 ・ ジェネリック医薬品の普及促進の件で、これまで後発医薬品を使用していたが、歯の治療をした際に医師から薬剤の成分が微妙に異なっていたりするので、先発医薬品に変えようと指示があったので、そういう場合もあると理解して欲しい。
- 委員 ・ 豊中におけるジェネリック医薬品の普及率は府内で低い方となっている。現在、

薬剤師会としてオーソライズド・ジェネリック（AG）というものの普及に取り組んでいる。このような薬剤があることも知っていただければ普及率も高くなるのではないかと思う。

- 委員 ・市独自の保険料減免について、コロナ禍の影響を考慮して段階的な縮小を一旦中止したとあったが、物価高といった状況の観点から同様の対応は可能なのか。
- 事務局 ・市独自の保険料減免の特別減額について、当初令和4年度からの段階的な縮小を令和5年度からの実施となったが、令和6年度には府内統一の減免基準に合わせ廃止となることに変更がないことから、激変を避けるため致し方なかったと考えている。
- 委員 ・健康寿命を延ばす取組みとして、社会福祉協議会主催のぐんぐん元気塾でとよなかパワーアップ体操を行っており、インストラクターとして参加しているが、参加者の健康に対する意識は非常に高いと感じる。時々体力測定も行っており、体力向上に係るモチベーションも高くなることがあるので、そのような例を紹介させていただいた。
- 委員 ・個人として国保の広域化に伴い、どのような負担がかかるのか。また国民健康保険に加入している団塊の世代が後期高齢者に移行する場合もどのような影響があるのかについて関心がある。特定健診も毎年必ず受けており、私が所属するサロンなどでそのこともPRをしている。
- 会長 ・豊中市は以前は他に比べて非常に独自の取組みがあって良かったが、国保の広域化に伴い、統一基準に合わせることで相対的に縮小傾向な感じがする。保健事業は努力すればその分インセンティブという形でフィードバックがあるのか。
- 事務局 ・保健事業のインセンティブ・令和4年度の保険者努力支援制度における豊中市の評価は府内で7番目となっております。そのインセンティブ財源があることも国保会計の収支を累積で黒字を維持している要因となっております。
- その他
- 事務局 ・次回の開催は令和5年1月下旬予定。後日、日程を調整させていただく。
・案件は令和5年度の保険料率についての諮問など。今回と同様にWEB会議の予定。